



令和6年度第76回大分県PTA連合会定期総会が6月1日、矢野修県教育庁社会教育課課長をはじめとする来賓を迎え、県下16郡市等P連・育友会の代議員と被表彰者を含む約100名が出席して県教育会館で開催された。時代の変化を敏感に感じ取りながら、教育専門機関・教育関係諸団体との連携強化に努め、子どもたちの健全育成のために会員の総力を結集することを宣言した。

**大分県PTA**

# くはみ

はぐく美

発行所  
大分市大字下郡496-38  
大分県教育会館2F  
大分県PTA連合会  
☎(097)556-9055  
責任者  
山田 弘 樹

印刷所  
大分市下郡3154の22  
九州凸版印刷株式会社

子どもが輝くPTA活動を目指して  
大分PTA  
分  
http://www.oita-pta.com/

**育ちを支える 体制づくりの推進**

続いて、PTA活動に貢献した宇佐市立北馬城小学

**時代に即した 活動を支える**

開会に際し、山田弘樹県P連会長があいさつ。冒頭でPTA活動の推進に努め本総会で表彰される団体・個人らに敬意の意を表した。「長期にわたるコロナ禍が子どもたちの心身に与えた影響は深刻で、いじめ問題、不登校、インターネット利用に係るトラブル等、子どもたちを取り巻く環境は更に厳しさを増している。このように時代が大きく変化している今だからこそ、会員一人ひとりが歩みを止めず『子育ての基盤は家庭にある』との基本に常に立ち返りながら、子どもたちの育ちを支える環境づくりにより一層取り組んでいくことが大切である。県P連はこれまでの成果を踏まえ、各関係団体との連携強化を図りながら各地域・学校の特徴に応じ、時代に即したPTA活動を着実に進めていきたい」と述べた。

**2 第17回 全単位PTA 会長研修会**

**3 第47回 分県PTA 広報紙コンクール 受賞広報紙紹介**

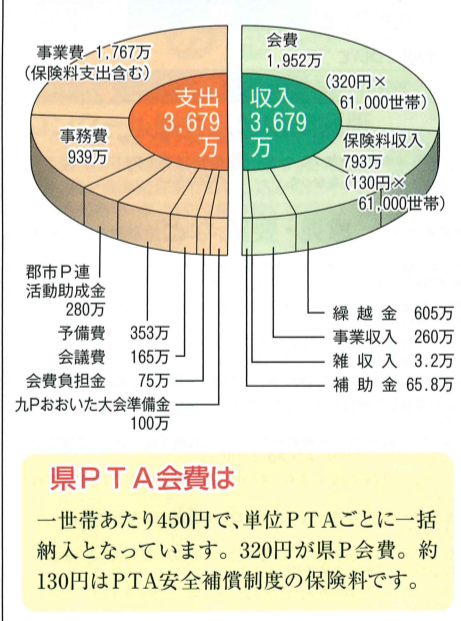
校PTAほか6団体と御膳雅章県P連副会長をはじめとする個人19名に表彰状、2名に感謝状が贈られた。次に、矢野修県教育庁社会教育課長の来賓祝辞があった。

矢野課長は「コロナ禍や社会構造の変化を背景として、子どもが抱える困難が多様化・複雑化するなか地域全体で子どもの豊かな育ちを支える重要性がますます高まっている。県教育委員会では学校・家庭・地域がさらに連携を深め、子どもを育てる体制づくりの推進を図るため、昨年度、社会教育課に『学校・家庭・地域協働推進班』を設置。学校運営協議会が設置されたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組が



**令和6年度の役員紹介**

会 長	山田 弘樹	宇佐市
副 会 長	二木 浩一	別府市
参 事	吉良 正幸	教師代表小
	河野 正行	教師代表中
	後藤 哲也	玖 珠 郡
	染矢 和陽	佐 伯 市
	本田 郁之	日 出 町
	二木 浩一	別 府 市
	江藤 史郎	杵 築 市
	土谷香代子	国東市姫島村
	那賀 照晶	大 分 市
	玉井 真一	白 杵 市
	甲斐みどり	津 久 見 市
	高 盛 礼子	由 布 市
	内川 大地	竹 田 市
	尾崎 佑介	豊 後 大 野 市
	馬場 亮次	日 田 市
理 事	吉崎 祐治	中津市
	水江 泰彦	豊後高田市
	衛藤 亀鶴	宇 佐 市
	江藤 史郎	杵 築 市
	土谷香代子	国東市姫島村
	那賀 照晶	大 分 市
	玉井 真一	白 杵 市
	甲斐みどり	津 久 見 市
	高 盛 礼子	由 布 市
	内川 大地	竹 田 市
	尾崎 佑介	豊 後 大 野 市
	馬場 亮次	日 田 市
監 査 委 員	津田 貴之	由布市
	瀧石 雅一	玖 珠 郡
	堀之内健治	宇 佐 市
顧 問	池部 英明	日 出 町
相 談 役	正田 啓二	佐 伯 市
事務局長	野寄 孝典	



**持続可能な 組織・活動の探究**

進むなか、学校運営協議会へのPTAの参画や学校との連携協働による教育活動・PTA活動の展開は、今後一層重要になってくる。県P連の皆様には、地域の方々と共に学校教育活動に参画するPTA活動を創出することで、本県教育の充実・発展を支援していただきたい」と祝辞を述べた。

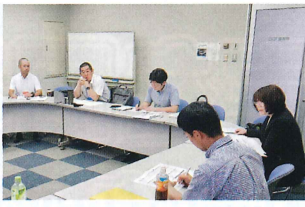
議事に入り、令和5年度会務報告・活動の成果と課題・収支決算報告・監査報告のあと、令和6年度基本方針・スローガン・活動目標・事業計画(案)・収支予算(案)を提示し、いずれも承認された。宣言では各

**令和6年度の主な行事予定**

- 第69回日本PTA九州ブロック研究大会 10月26日(出)〜27日(日) 長崎大会
- 教育問題懇談会 11月15日(金)
- 県PTA指定研究発表会(令和5・6年度) 12月1日(日)
- 第33回県PTA研究大会 1月19日(日)
- 竹田市大会 1月19日(日)
- 第48回広報紙コンクール審査会 2月26日(火)
- 表彰式 3月18日(火)

**「自分の思い」**  
自分の思いを相手に伝える難しさを常を感じている私。そんな時、池上彰さんの次の一文が目にとまった。「わかりやすく伝えることは難しい。でも自分が謙虚になり伝えようとする相手は「何を知らないのか」それを知らなければ伝える工夫も生まれる。「こんなことがわからないのか」と思っていたら、いつまで経ってもわかりやすい伝え方は、身につかない。「謙虚になること」これが伝える力を見につける第一のことだ。その上で好奇心を大切に。「なぜこうなるのか」「どうしてこういう呼び方をするのか」など、そんな好奇心に駆られて詳しく調べておくことで、相手にわかりやすく伝えることができる」▼伝える力が話題になる。と決まってい出すのは、俳句の主宰と一緒したときのこと。山中の食事処で窓外を眺めながら「あの山の名は?」の問いに「多分、○○だと思えます。」また、店の入口の植木鉢の花の名前を問われても「たぶん、○○と思います。」と私。主宰には「多分では駄目だ。」と席を立たれお店の方に正解を求められる▼うろ覚えの知識では、人との十分なコミュニケーションは願えない。常に好奇心を持ち、本質を確かめる習慣を身につけておくことの大切さを学んだ▼昨日より今日、自分が少しでも変わり、新しくなりたいと思うのであれば、まわりから学ばなければならぬ。そして「先生の先生」は人なのだと今日のこと。今日出会う全ての人が自分に何かを教えてくれる先生である。自分は全ての方々に生かされて生きているという真実を忘れないでいることだ。





# 第17回全単位PTA会長研修会 生涯学習の視点に立つ

7月20日、県内の全単位PTA会長らが一堂に会し、第17回全単位PTA会長研修会が大分県教育会館で開催された。コロナ感染拡大の時期であったため当初の参加予定者から少なくなったが「子どもたちのためにPTAができることを語り合おう」をテーマに190名が出席しアフターコロナで変化した活動や新たな課題、PTAのあり方について討議した。

本会は、県内16郡市等の県P連理事と346単P会長を対象とし開催。組織の牽引役としての資質の向上を図るとともに、生涯学習の視点に立った単Pの研修活動を推進することを目的とした研修会。

開会に際し、山田弘樹県P連会長があいさつ。「本会は会長としてのあり方を考える会であり、また県下各地域の単P会長が集い、テーマに沿って意見交換や情報収集をすることで諸課題解決の糸口をつかむ機会になればと思う。県P連では未来社会の担い手となる人間性豊かな子どもたちの育成に向け、今年度の活動スローガンを「つながり学び合い、広げ、深めよう実践〜つどい、はぐくむ子どもたちの未来(ゆめ)〜」とした。社会変化を見据え各関連諸団体との連携強化を図りながら、会員自らの人間力・家庭教育力向上のため、学び、行動し続けるPTAを支え続ける。その

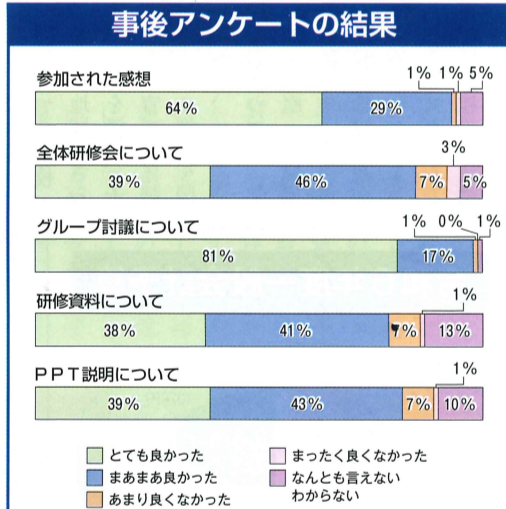


入会時の説明や回答例等について質問する参加者

ためにも皆さまの英知を結集し一層のご理解とご協力をお願いしたい」と述べた。

## 目的と意義の共通認識

全体研修会では、本田都之県P連副会長による「PTAを取り巻く様々な問題についての情報共有とPTAの目的、性格、活動の意義について考える」と題した研修会が行われた。毎年県P連から発行・配布される会長研修資料および日P、九P、県Pの組織的な活動や実績等をパワーポイントを用いて解説付きで紹介。PTAの必要性や意義



- ### 意見・要望など
- PTAの任意加入問題やPTAの存在意義、学校とPTAとの協力関係の問題など多くのことを学ぶことができた。
  - 規約の見直しが必要な部分があることがわかった。今後、規約改正に向けて取り組む。
  - グループ討議で各単P会長の抱えている悩み、取組などを聞くことができ、今後の活動のヒントになった。
  - いろいろな郡市、学校の規模で異なる問題点や対応を知ることができた。
  - 大変有意義な研修会だったので、年1回ではなく2回、3回開催してほしい。
  - 討議の柱は事前にある程度絞ったり、学校規模が同じグループ編成にしたりすることで討議がより深まると思う。
  - PTA会長研修資料は、Q&A、あいさつ文例など参考になることが多く、大変わかりやすい。
  - 会長研修資料は、経費削減のため内容の簡略化、電子配付でもよいのではないかと。
  - PPTでは、単Pが直面している問題点とその対応について、簡潔でわかりやすい説明で大変参考になった。
  - PPTのスライド資料を配付してほしい。今後のためデータももらいたい。

等、組織運営に役立つ知識を深め認識の共有を図った。また県P連の取組のひとりである県教育委員会との教育問題懇談会について、令和5年度の内容と経過に関する報告があった。各郡市等P連・育友会から出された教育課題をもとに設定された討議の柱の中でも特に重点的に討議が重ねられたインターネットの長時間使用、性被害、個人情報に係る問題について県P連からの提言を受けた県教委は「家庭での子どもの過ごし方検討委員会」を発足。令和6年5月に「家庭での子どもの過ごし方」について県の指針、取組が公表されたと報告。この後行われるグループ討議の布石を打った。

### の仕方について

学校行事で会長あいさつが行われない等、保護者へアピールする場が減ったと感じる単Pも。教職員の働き方改革の影響もありPTA行事も開催日や時間が限られるため学校とのより緊密な連絡・調整を図る工夫が必要。参観日等、保護者の来校に合わせ実施できる活動を創意工夫してみたい。

### ▼講演会・研修会の必要性

子どもと同様に大人も学びの場があることで物事の理解を深め、未然にトラブルを防げることも。また参加者との交流を通じて新たな視点やアイデアを得る機会にもなる。親同士や学校、地域の方が交流できる場があると自然に連携が強化され、子どもたちのより充実した学校生活に繋げることができると思う。

### 組織における相互理解

グループ討議では、小学校(小中連携含む)23、中学校9グループに分かれて意見交換がなされた。内容には大分県教育委員会との教育問題懇談会につながる「討議の柱」も含まれている。

### ▼役員選出について

PTAを取り巻く環境や価値観の違いから会員数は減少傾向、会長・副会長等の後継者不足にも繋がっている。次期役員は自薦・他薦の他には現役員からの打診で選出する単Pも多い。作業の見える化や分担、活動の取捨選択をし、会員の誰かが引き受けられる環境づくりを目指したい。

### ▼不登校世帯への関わり

不登校の子を持つ世帯は近年増加傾向にあり、PTAに関わる課題として「講演会や活動に参加したいが、配布物やお知らせが届かない」という声がある。同じ境遇の保護者同士を繋ぎ、保護者の意欲を活かす取組が必要。学校と協働してPTAが情報交換・共有できる場を提供し、会長や副会長が参加することでPTA活動のひとつとして取り組んでいるところもある。

### グループ討議

内容は次の通り・抜粋、PTA活動の再開・周知

各単Pで直面している課題は学校規模や各地域の特色により様々だが、「会長として求められる姿」や「これからのPTA運営に何が必要か」再認識する貴重な会となった。

本校では、PTA環境整備厚生部や親父の会が中心となり、定期的に環境美化活動を行っています。また、週末には、地域の方がこっそりと草刈りをしてくださっています。そして、夏休み。このハートのあるグラウンドで、恒例の「ラジオ体操」が行われました。これは、学校運営協議会の主催です。毎朝、子ども、保護者、地域の方、約80名が集まり、「新しい朝が来た、希望の朝だ」と歌いながら、ラジオ体操を始めます。古き良き時代が、地域の方々によって、子どもたちに引き継がれています。

「先生、ハートがあるよー」  
ある朝、校門前で交通指導をしている私に、子ども達が駆け寄って来ました。「ハート?」「どこに?」「グラウンド!」子どもに連れられてグラウンドに行くと、そこには見事に「ハートの島」が出現していたのです。短い草に覆われているグラウンドの傍らに、ビバーを駆使して作ったと思われる縦横2mくらいのハート。何とも言えないあたたかな雰囲気を感じ出して、子どもたちは、満面の笑みで、そのハートの中に入ったたり出たりしていました。「校長先生が作ったの?」「いやいや、皆さんが1学期頑張ったから、神様がプレゼントしてくれたのかもよ。」  
「ふん」

本校では、PTA環境整備厚生部や親父の会が中心となり、定期的に環境美化活動を行っています。また、週末には、地域の方がこっそりと草刈りをしてくださっています。そして、夏休み。このハートのあるグラウンドで、恒例の「ラジオ体操」が行われました。これは、学校運営協議会の主催です。毎朝、子ども、保護者、地域の方、約80名が集まり、「新しい朝が来た、希望の朝だ」と歌いながら、ラジオ体操を始めます。古き良き時代が、地域の方々によって、子どもたちに引き継がれています。



玖珠町立塚脇小学校 校長 平原 一幸



# 第47回大分県PTA 広報紙コンクール

各広報紙のコメントは…  
広報紙作りに携わった方からいただいた  
生の声を掲載しています。



# 大分県知事賞に『さいき城南』

## 佐伯城南中学校PTA

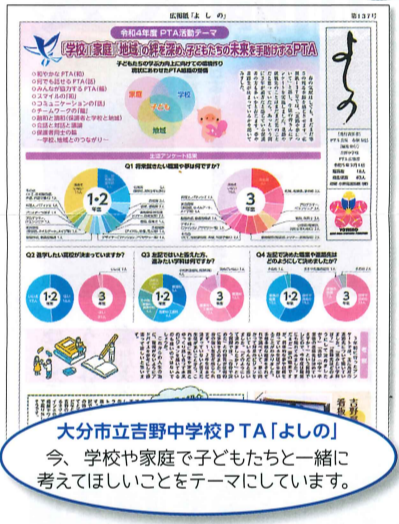


第47回大分県広報紙コンクールの審査会が2月27日に県教育会館で開催された。県内の小・中学校PTA・育友会から69点の応募があり、20点が受賞した。

3月19日、県教育会館で開催された表彰式には来賓・受賞者の代表者約40名が出席。始めに山田弘樹県PTA連合会長が「広報紙は学校での子どもの様子を伝え、学校と家庭、地域を繋げる役割がある。新型コロナウイルスの影響で縮小された活動の再開やPTA活動の方針・内容・趣旨などを掲載し、会員の皆さまや地域の方々にPTAの様子を広く知らせる大切な役割を担っている。各単Pの特性を分かりやすく、かつ興味・関心を引く紙面になるよう編集された

佐伯市佐伯城南中学校PTA「さいき城南」  
保護者が知りたいこと知ってほしいことを内容に取り入れ、生徒のイラストや文字を使い読みやすい紙面にしています。

## 大分県PTA連合会長賞



多くの広報紙を審査会で拝見した。広報紙完成までに携わったすべての皆さまに感謝したい」とあいさつを述べた。

続いて、森山貴仁県教育庁社会教育課課長（山崎充課長補佐代読）が「各PTAの特色ある取組を掲載し、会員の声や地域住民の様子も伝わってくる広報紙という活動は、本県が目指す『地域とともにある学校づくり』に大きな役割を担う。学校と家庭、地域を結びつけ、魅力ある広報紙の紙面づくりを携わった皆さまに感謝する」と祝辞を述べた。

大分市立吉野中学校PTA「よしの」  
今、学校や家庭で子どもたちと一緒に考えてほしいことをテーマにしています。

大分市立明治小学校PTA「明丘新報」  
目に留まるような表紙作り、中綴じタイプで、地域との繋がりを数多く掲載しています。

大分市立豊府小学校PTA「ほうふ」  
家族と一緒に読める内容で年間テーマを決め、シリーズ化しています。



受賞した各PTAなどに表彰状が贈られた後、各審査員

県知事賞受賞の佐伯城南中P代表者と山田県PTA連合会長

による講評があった。▲太郎良将彦県教育庁社会教育課社会教育主事は「広報紙の役割は2つ。1つは学校の様子やPTA会員の活躍を知らせるもう1つはPTA会員の方々を繋ぐツール。広報紙を見て皆さんが話し合いをされている様子が伝わってきた」▲高野学大分合同新聞社編集局長兼ニュース編集部長は「新聞を作る時に一番心がけていることは価値判断をしっかりとすること。提出された広報紙は内容・紙面ともにしっかりと整理整頓され、読みやすい紙面が多かった」▲山田弘樹県PTA連合会長は「広報紙づくりで一番力が入るのは卒業式の記事だとか。審査する度に同じ内容でも伝える側の表現の豊かさに驚かされる」▲小野京子県PTA連「はぐく美・ときめき」執筆者は「思わず手に取って読みたくなる紙面とは読み手の心に食い込む言葉を見出しに、写真を効果的に使った紙面を楽しくすること、余白を意識して作ることで、どれもこの要点を満たした広報紙だった」と講評を述べた。

### お知らせ

#### 第47回大分県PTA広報紙コンクール優秀広報紙縮刷版

1冊700円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県PTA連事務局までお申し込みください。県内の各小・中・特別支援学校には都市P連を通じて1冊贈呈しました。

大分県PTA連合会事務局  
☎(097) 556-9055

### 審査員

小野 京子 大分県PTA連合会「はぐく美・ときめき」執筆者  
高野 学 大分合同新聞社編集局長兼ニュース編集部長  
太郎良将彦 大分県教育庁社会教育課社会教育主事  
山田 弘樹 大分県PTA連合会会長 (敬称略)

尚、入賞紙のうち10紙が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品される。

審査会の様子

### 第47回 大分県PTA広報紙コンクール入賞PTA

県知事賞	「さいき城南」 佐伯城南中 (佐伯市)	大分合同新聞社賞	「たじり」 田尻小 (大分市)
県PTA連合会長賞	「ほうふ」 豊府小 (大分市)	OBS賞	「むつみ」 荏隈小 (大分市)
「明丘新報」 明治小 (大分市)	TOSテレビ大分賞	「にしんし」 大在西小 (大分市)	
「よしの」 吉野中 (大分市)	大分ケーブルテレコム賞	「広報ひのくま」 日隈小 (日田市)	
県議会議長賞	「はるき川」 春木川小 (別府市)	OAB賞	「あおがき」 大分大学教育学部附属中 (大分市)
県教育長賞	「まてばしい」 下郡小 (大分市)	優良賞 (順不同)	「はつせ」 南大分小 (大分市)
「城東 Aozora」 城東中 (大分市)	県小学校長会長賞	「せんだん」 東大分小 (大分市)	
「津留小タイムズ」 津留小 (大分市)	「ひがしわざだ」 東植田小 (大分市)	「はんだ」 判田小 (大分市)	
県中学校長会長賞	「南風」 南部中 (日田市)	「あけの」 明野中 (大分市)	
「大明」 大明小中 (日田市)		※「PTA」・「育友会」などの名称は省略	

### 子どもたちの輝く笑顔のために

#### PTAのすゝめ

6つのキーワードに思いを込めて。小・中学校の新入生保護者に配布しています。

PTAのすゝめ  
1. 大分県PTA連合会  
2. 大分県PTA連合会事務局  
3. 大分県PTA連合会事務局  
4. 大分県PTA連合会事務局  
5. 大分県PTA連合会事務局  
6. 大分県PTA連合会事務局





子どもたちのために  
PTAとして何が出来るか

# 第33回大分県PTA研究大会 竹田市大会

開催日：令和7年1月19日(日)  
場所：グランツたけた 他

分科会・テーマ	提言発表PTA
第1分科会 家庭教育	別府市立緑丘小学校PTA 竹田市立竹田南部中学校PTA
第2分科会 人権教育	臼杵市立南野津小学校PTA 由布市立湯布院中学校PTA
第3分科会 教育環境	日出町立豊岡小学校PTA 豊後高田市立高田中学校PTA
第4分科会 広報・地域連携	竹田市立竹田小学校PTA 佐伯市立昭和中学校PTA

## 大分県PTA連合会指定研究事業趣旨

望ましいPTAの在り方を追求し健全な子どもの育成を目指す単位PTAに対して2年間にわたり大分県P連がその研究を援助。今後のPTA活動の振興を図っている

## 研究事業発表会

開催日：12月1日(日)  
場所：大分県教育会館多目的ホール

# 学校紹介

令和5・6年度  
指定研究発表PTA

別府市立 朝日小学校PTA  
 明治5年に別府市内の小学校の中で最初に開校し、今年で創立152年の歴史を持つ伝統校です。児童数は601名で別府市の小中学校の中でも一番のマンモス校になります。児童数が多いため、様々な事情を抱える保護者の数も多くPTA組織や活動の在り方が常に課題となっています。PTA活動としては、やりたい活動をする時にできる人ができる事を行い、ひとりに負担をかける活動をもっとに、全PTA会員で組織する活動支援部を創設しました。時代にあったPTA活動にするため、より良い形へと進化していき、今後もやって良かったと思える活動を行っていきたいと思っています。

国東市立 安岐中学校保護者会  
 安岐中学校は、県内で空港に一番近い中学校です。「ワンランク上の自分へ」の教育目標の達成に向け、家庭、学校、地域で協力し、212名の生徒を大切に育てています。PTAでは、「子どもたちのために」とも手をとりながら「PTA活動」に取り組んでいます。この3年間、PTAが直面する課題の解決に向け、その在り方や役割、今後の方向性について、学校とともに検討を重ねました。行事の持ち方や役員数、部会等の組織の再編、会費の見直し等、大きな改革に取り組んでいます。研究発表会では、その一端を報告したいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

指定研究は県P連の主催・主管事業。指定を受けた県内の2単Pは2年間にわたり、特色あるPTA活動に取り組み、2年次に公開発表を行う。今年度の発表内容は「はぐく美351号」で紹介する。

## 仲間とつくる大切な時間

中津市立東中津中学校2年 井上 理叶  
 4泊5日で沖縄の国内研修に参加してきました。全国から参加した人たちと交流を深めながら、沖縄の文化、自然、歴史など多くのことを学び、幸せとは何か、10年後に世界中の人が幸せになるために、私たちに何ができるのかを考える機会になりました。特に大切な思い出は、参加者全員でキャンパファイヤーを囲みながら歌ったことです。短い期間でしたが初めて会った人たちと初めての経験を重ねながら、今までにない幸せの感情と一生の仲間をつくることができました。この経験を活かし私には何が出来るか考え、沢山の人が幸せになる方法を見つけたいです。

学校・学年はR5当時

## 令和5年度 日本PTA国内研修事業

沖縄県・渡嘉敷島 令和6年3/26~3/30

### 沖縄研修で学んだこと

琉球郡九重町立ここのえ緑陽中学校2年 石橋 依吹  
 沖縄研修で学んだことは沢山あります。その中のひとつは、環境が変わっても自分が変わるうとしなければ何も変わらないという事です。僕はコミュニケーションが苦手でしたが、自分から話しかける勇気をだすことで友達ができ、班のメンバーと協力しながらこの研修を楽しむ事ができました。「どうしたら世界みんなが今よりも幸せになれるのか」という課題には班で考えた地球温暖化の改善策について深く話し合う事もできました。沖縄の歴史や文化にふれあう貴重な体験ができるのも僕たちを支えてくれる多くの方がいるからです。感謝を忘れず培った経験を行動に映していければと思います。

## 研修参加報告 第72回 日本PTA全国研究大会

幸せのあり方に思いを馳せて

# 川崎大会



第72回日本PTA全国研究大会川崎大会が8月23日、24日に開催され、大分県P連から理事ら4名が参加しました。「ウエルビーイングの実現を、川崎の地から活かそうの力」のローガンのもと、全国各地から多くのPTA会員の仲間が集いました。川崎大会で

は、これまでの大会のように分科会を設置せずに参加者全員が1会場に集結して、1つのカリキュラムを学び、意見交換やワークを多く取り入れることで全国の仲間と学びを共有し交流することができました。1日目の特別第1テーマの研究課題は「全国のPTAの縁をいかし力強く進める教育環境改善への提言」PTAの真の役割とは。ウエルビーイングな社会教育の促進」です。ウエルビーイングとは、一般的に「心と体と社会がよい状態」の事を指します。講演では、社会的視点から日本PTAが目指すP

## 大分県PTA連合会 学生・子ども総合保険のご案内

(東京海上日動・団体総合生活保険)

自転車トラブル 熱中症 突発的なケガ

ご心配な方へ！  
お手続きはまだ間に合います！

スマホでかんたん 保険申し込み～口座の登録 まで手続き！

### 二次募集(中途加入)

募集期間 令和6年4月1日～令和7年2月28日

保険期間：お手続き日の翌月1日～令和7年4月1日

保険料の振替日：補償開始日の翌々月27日

※金融機関の休業日である場合はその翌営業日



### お問い合わせ先

〈代理店〉 東京海上日動パートナーズ九州  
大分支店 大分支社

住所：〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5番11 コレジオ大分2階  
TEL:0120-800-577 (受付時間：平日9:00~17:00)

〈保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社  
大分支社

住所：〒870-8562 大分県大分市堀町3-6 大分県東京海上日動ビル5階  
TEL:097-536-2120 (受付時間：平日9:00~17:00)

## 第48回 大分県PTA 広報紙コンクール

### 応募対象

県下の小・中・特別支援学校PTAで年1回以上定期発行した広報紙(号外を除く)(令和6年3月~令和7年2月までに発行したすべての号を提出)

締切日 令和7年2月19日(水)

審査日 令和7年2月26日(水)

表彰式 令和7年3月18日(火)

※単位PTAに実施要綱を送付します。ご確認お願いいたします。

TA本来の役割とウエルビーイングについて、グループセッションを交えながら学ぶことができました。2日目のセッションでは、教育評論家の親野智可等氏の講演の中で「大人がよい状態にいると、子どもの幸福度が高い」と話され、大人と子

どもが自己肯定感を高め合い、それぞれのウエルビーイングの実現を目指していく事が大切だと感じました。今回の研究大会で、改めてPTAの縁を語り合うことの大切さを感じた2日間でした。大分県PTA連合会 副会長 後藤 哲也

※ウエルビーイングとは：身体的・精神的・社会的に幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることで、国が示す教育振興基本計画に掲げられる目標のひとつ。

1面コラム欄は引き続き「ときめき」です

※筆者紹介\*  
 小野 京子  
 ○元大分市立荏隈小学校校長  
 ○大分大学教育学部 附属中学校学校評議員  
 ○俳人協会会員  
 ○著書「ときめき」「いやしの百句」他

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。  
 小原容子(編集長)  
 川野葉子  
 内田一恵  
 ※今年度より、はぐく美の発行回数が年3回から2回になりました

※はぐく美編集委員を募集しています。詳細は左記事務局までお問い合わせください。  
 大分県PTA連合会事務局  
 ☎(097)556-9055

## 編集後記

▼理念や役割を定めるPTA広報紙。紙面から活動の様子を知り一方で子どもへの思いを読み解く。表現方法は様々な自由な発想が印象深い。(O)  
 ▼長男はやりたいことが明確で進路に迷いが無い。自分はどうかだったかなと思ひ返す。好きなことを仕事にできるように頑張りたい。(K)  
 ▼末娘が小4にして初めて母から離れて三泊。「行きたくない！」涙の別れ。四日後、「楽しかった！」笑顔の再会。また子育て頑張れそう。(U)